

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.40 Summer 2018

木の穴から顔を出すムササビ。
出会えたらとてもラッキーです♪



ムササビ

ト ピ ッ ク ス

・この人 ^{〈追い〉}ヘボぼいメン!

立教大学文学部 野中 健一さん

・特集 海上の森はいま

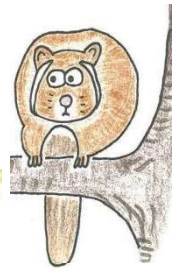
コウモリセミナー 「海上の森にテングコウモリ!？」を開催しました!

初夏のイベント 海上の里の田植え

平成30年5月27日(日)に、体験学習プログラム「里と森の教室」において田植えを行う予定です。

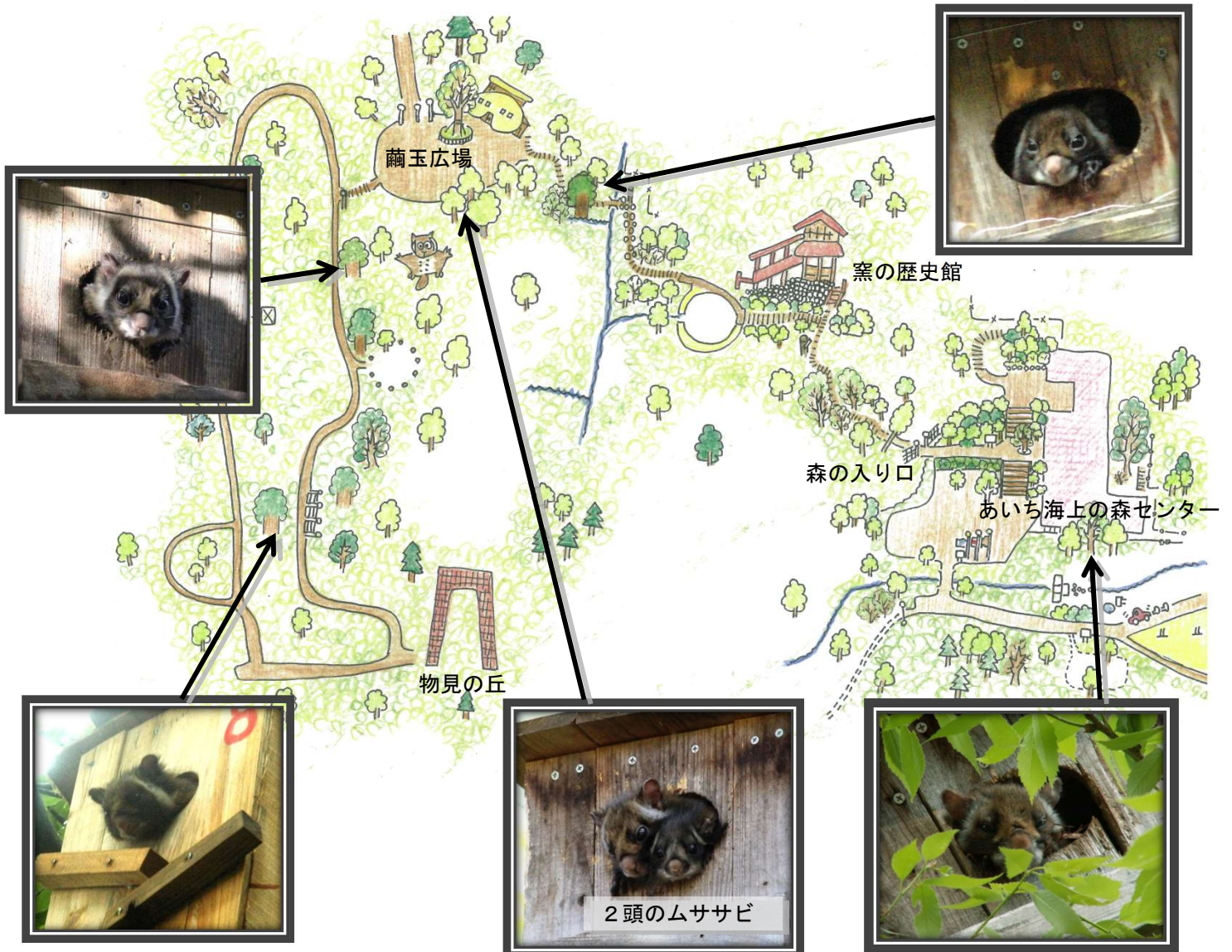
昨年は爽やかな青空の下、うぐいすのさえざりを聞きながら、手作業で苗を植えていきました。子供から大人まで泥に足を取られて悪戦苦闘!子供たちは、泥だらけになりながら元気に田植えができました。





海上の森のムササビに会いたい！！

さて、今回のおすすめは、遊歩施設内のコースです。



あいち海上の森センター周辺には、森の中でムササビが自然に繁殖できるようにいくつかの巣箱が設置されています。ムササビは夜行性の動物ですが、4月から7月にかけては、これらの巣箱から昼間でもムササビが顔を出しているところが観察されています。特に5月頃には、1つの巣箱から2頭のムササビが顔を出していることがあります。たぶん親子。母親とその子供です。

さて、ムササビに出会いたい人は是非、あいち海上の森センター内の遊歩施設へおいで下さい。散策時間は1周 約40分です。

また、もう少し時間のある方は、吉田川沿いのコースがおすすめです。沢沿いの道標 36 から 35 へ、尾根道へ出て道標 34 から 37 を経て 38 をめぐるコースにも巣箱があります。このコースは1周 約60分。素敵な出会いがあるかもしれませんね。お待ちしております。

道標番号入り地図はあいち海上の森センターのホームページから読み取ることができます。

QRコード



この人 ^{<追い>}ヘボぼいメン!

「金にならんが命は賭けとる」全国地蜂連合会

立教大学文学部 野中 健一さん

「ヘボ」とはクロスズメバチの方言。愛知県尾張丘陵部から三河地方、岐阜県東濃地方では、この名前で親しまれ、巣を求めて山野を仲間と追いかけて（ヘボ^ぼ追い）、巣箱で大きく育て、「蜂の子」が秋の旬のごちそうにされます。里山の自然と関わるこの文化を次世代に伝え、ヘボと環境を保全しようと 1990 年代から各地に愛好会ができました。その集まりが「全国地蜂連合会」です。ヘボを何時間でも観察し、自然の知識と追跡・発見技術を蓄積し、大きく育てるために努力も金も惜しまず、その経験を語りあって楽しく活動しています。昨年は山形、島根、山梨までも遠征して各地に仲間を増やしています。近年は、東京にも愛好会ができ、岐阜県恵那農業高校の HEBO 倶楽部創設、埼玉県自由の森学園でのヘボ抜きイベントが大好評と、若い世代の関心増加につられて、さらに元気に活動中のヘボ追いメンです。

2008 年の海上の森でのヘボ追いによる生息調査では歩道沿いに見つかったのに、16 年には発見できませんでした。この間の変化に「こんな暗い

森ではヘボが住めんぞ」と危惧し、活動成果を「海上の森をササユリの咲く森にしましょう」と発表しました。その心は人が活用し続けてこそ明るく豊かな里山になることを身をもって知っていることにあります。

夏から秋かけてはセンター中庭に巣箱を設置しています。ヘボがせわしく飛び立ち、エサや巣材を健気に運び込む様子に「和む」「癒やされる～」と好評です。各地・各家で炊き方や具にこだわって作られるヘボ飯の食べ比べも催しました。今年も海上の森で活動を予定しています。追ってみたい、食べてみたい方、全国地蜂連合会までご連絡をお待ちします!

<プロフィール> 野中健一さん

1964 年愛知県生まれ。春日井市岩成台在住。世界の昆虫食、人と自然との関わり合いを地理学・生態人類学で研究している。全国地蜂連合会 (<https://blog.goo.ne.jp/jibachi>) 顧問。



センター職員随想リレー かたりべのひと言

人と共にある海上の森

海上の森を歩いていると、遊びや遠足で訪れた子供たち、ハイキングに来たグループの人たち、生き物の観察や写真を撮りに来た人など、様々な方に出会います。そうした人たちとの交流の中で、一人で歩いているだけでは気が付かなかった生き物の面白い発見や四季折々様々な表情を見せる森の変化を教わりました。人との出会いがあったからこそ、海上の森に対する今の見え方があり、愛着があるのだと思います。自然を愛し、大切に作る心が育まれるには、森で出会う人との交流も大きな力を持つのではないかと思います。「誰かと一緒に森を歩く」。これも、自然と人のより良い関わりを考える一歩になると思います。それを感じさせてくれた海上の森の自然と、出会えた人たちに感謝しています。(A・N)

特集 海上の森はいま

コウモリセミナー「海上の森にテングコウモリ !？」を開催しました！

海上の森センターでは2月17日(土)に特定非営利活動法人東洋蝙蝠研究所 橋本肇(はじめ)さんを招き、コウモリセミナー「海上の森にテングコウモリ !？」を開催しました。

セミナーを開催することとなったきっかけは、昨年夏、海上の森内に設置された自動撮影カメラに、種が不明のコウモリが撮影されたことです。橋本さんに同定を依頼したところ、「これまで海上の森では確認されたことがないテングコウモリの仲間の可能性が高い」とのことでした。同時に「これまでテングコウモリの仲間が確認されなかったのは、単に十分な調査がされなかったため」とのお話を伺いました。

そこで、多くの方々にコウモリとコウモリ調査の現状を知っていただこうと、橋本さんの協力の下、コウモリセミナーを開催することになりました。

セミナーでは、テングコウモリの生態や県内に生息するコウモリの紹介、本県のコウモリ調査の現状等が紹介されるとともに、「特に海上の森をはじめとする尾張部ではコウモリの調査が不十分であり、今後調査を実施していくことが課題となっている」との報告がありました。

今後は、橋本さんが中心となり、「あいちコウモリ調査隊」を発足し、市民レベルでのコウモリ調査や観察会等を海上の森ほかで実施していく予定で、センターとしてもこの取り組みに協力していきます。



※コウモリ調査に関心のある方は、橋本肇さん (E-mail : jbc02006@nifty.ne.jp) までご連絡ください。

平成30年度 6-8月開催予定 海上の森プログラム

調査学習会 森の中で、自然に触れて生き物の事を少し専門的に学びます。

「海上の森のキノコ」 実施日時：7月29日(日)

午前9時30分～午後2時30分まで

「海上の森の水生物」 実施日時：8月26日(日)

午前9時30分～午後12時30分まで

〔 対象：小学生以上 ※小学生は保護者同伴
受付期間：開催日の2ヶ月前から2週間前まで 〕



お申し込み方法など詳細につきましては、あいち海上の森センターおよび関連施設にて配布される資料またはセンターホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>) をご確認ください。

編集後記

森の中は青々とした緑が眩しく、草木の花々が踊り、賑やかに鳥が歌い、虫たちが活発に動いています。体いっぱい海上の森のエネルギーを感じられます！

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成30年5月15日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>



ホームページQRコード